



# アルテピア

一般社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北3条西18丁目2-7 新田ビル TEL・FAX 011-644-4025  
http://www.artepia.or.jp



## 長倉洋海《町に買い物に来たチベット遊牧民の男の子》

2005年 インクジェットプリント 121.2×180.0cm (北海道立釧路芸術館蔵)

写真家・長倉洋海は、2004年から2008年まで、中国西域の取材旅行を繰り返した。それは多くの人々に出会い、温かさに触れた旅で、シルクロードを舞台に生きた往年の人々の面影を、今日に生きる人たちの情景から想像し、シャッターを切り続けた。

この作品は、中国西部の青海省に取材した時のもので、町に姉と買い物に来ている時に出会った遊牧民の少年の貌をクローズアップしてとらえた一点。凜としてカメラをみつめる少年の瞳に長倉は惹かれた。小柄な農耕民と比べると遊牧民は大柄で勇猛だといわれるが、その片鱗をこの少年にみたのであろう。

長倉洋海は、1952年に釧路市に生まれる。通信社勤務を経て、1980年にフリーのフォト・ジャーナリストとし

て独立。アフガニスタンやエル・サルバドル、南アフリカをはじめとした世界各地の紛争地や辺境の地において、希望を胸にたくましく生きる人々の姿を数多くとらえてきた。

長倉がシルクロードに大きな関心を向けたのは、長年取材を続けてきたアフガニスタン抵抗運動の指導者マスードが2001年に暗殺された後のことである。平和を取り戻しつつあったアフガニスタンと祖国・日本、そしてまた取材で何度も訪れた中近東とのつながりを、古の交易路・シルクロードに探ろうとした。その壮大な構想のもと、長倉は取材旅行を展開していったのであった。

(北海道立釧路芸術館学芸課長 光岡幸治)

北海道立近代美術館開館40周年記念 北海道新聞社創業130周年記念

# ゴッホ展

## 巡りゆく日本の夢

8月26日(土) ▶ 10月15日(日) 北海道立近代美術館 学芸部普及情報課長 鎌田 享

開館40周年を迎える今年、北海道立近代美術館ではファン・ゴッホに焦点を当てた記念特別展を開催します。今も世界中の人々に愛されている画家フィンセント・ファン・ゴッホ。その作品の背後には、日本美術からの影響、そして日本への熱烈な憧れが、秘められています。

1853年にオランダに生まれたフィンセント・ファン・ゴッホは、1886年にパリに移り、この地でさまざま刺激を受けながら、自らの絵画表現を模索していきます。そこで大きな役割を果たしたものが、日本の浮世絵版画でした。ファン・ゴッホは浮世絵を熱心に収集し、それを模写した油彩画を描いています。

《花魁》もそんな一点。この作品は、パリで刊行された雑誌『パリ・イリュストレ』の表紙を飾った溪斎英泉の浮世絵版画《雲龍打掛の花魁》を基にした作品です。ちなみに、雑誌掲載時にもとの浮世絵版画とは左右逆転して載せられたため、ファン・ゴッホの油彩画でもそれが踏襲されています。

ファン・ゴッホは、単に浮世絵の図柄を写すことにとどまらず、その表現を学び取って自らの作風を深化させていきました。その一端は《種まく人》にもうかがえます。単純化された形態、平坦で鮮やかな色彩、そして最前景に木の

幹を配し画面を分断する構図。これらはいずれも、浮世絵から影響を受けたものといえます。

さらにファン・ゴッホは、日本を紹介した文章を咀嚼しながら、独自の日本イメージを醸成していきます。1888年には、芸術家たちの共同体を作ろうと南仏のアルルへ赴きました。大いなる期待を胸に訪れたこの地を、彼はしばしば日本と重ね合わせています。

《寝室》は、アルル時代にファン・ゴッホが起居した部屋を描いた作品。そ



フィンセント・ファン・ゴッホ《花魁（溪斎英泉による）》1887年 油彩・カンヴァス  
ファン・ゴッホ美術館（フィンセント・ファン・ゴッホ財団）蔵  
©Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)



フィンセント・ファン・ゴッホ《種まく人》1888年 油彩・カンヴァス ファン・ゴッホ美術館（フィンセント・ファン・ゴッホ財団）蔵  
©Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)



フィンセント・ファン・ゴッホ《寝室》1888年 油彩・カンヴァス ファン・ゴッホ美術館（フィンセント・ファン・ゴッホ財団）蔵  
©Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

してこの部屋について彼は、次のような一文を残しています。「日本人はとても簡素な部屋で生活した。そしてその国には何と偉大な画家たちが生きていたことか」。ファン・ゴッホにとって日本は、自らの制作や生活を築き上げていくためのモデルであり、夢にまで見た理想郷だったので。

◆ 1890年、ファン・ゴッホはパリ近

郊のオーヴェール・シュール・オワーズで、弟のテオ、そして最晩年に交友を持った医師ポール・ガシエに看取られながら亡くなります。

その死後、日本ではファン・ゴッホの作品や生涯が『白樺』をはじめとする雑誌で紹介されはじめました。そして1920年代には、ファン・ゴッホに憧れた日本の画家や文学者たちがフランスを訪れ、その足跡をたどるようになります。

◆

当時、パリで見る

ことが出来たファン・ゴッホの作品はわずかしかなかった。そこで彼らは、ガシエ家に残されていた作品を訪ね、ファン・ゴッホ晩年の足跡をたどるために、オーヴェールへと向かいます。ガシエ家は、1920年代から30年代にかけて同家を訪れた日本人240名あまりの署名が記された三冊の芳名録が残されました。

例えば、1922年4月9日の頁には、画家・里見勝蔵

の署名が記されています。大正から昭和にかけて活躍した里見は、1921年から25年かけてフランスに留学してフォーヴィスムの影響を受け、生涯にわたって色彩表現の可能性を追い求めた人物です。この署名からは、里見が留学まもない時期にファン・ゴッホの作品を見学していたことがわかります。また『オーヴェールの正面』と題された1924年の里見の油彩画も残されています。

◆

この展覧会では、ファン・ゴッホと日本との相互の関係にスポットをあてます。

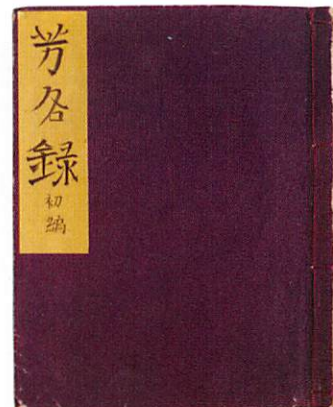
ファン・ゴッホは、日本から如何なる影響を受け、如何なるイメージを抱いていたのか。国内外のコレクションから厳選したファン・ゴッホ作品40点あまりと、同時代の画家の作品や浮世絵など50点あまりによつて、その実像を多角的に検証します。

また、最初期における日本人のファン・ゴッホ巡礼を、ガシエ家の芳名録に基づいた90点を超える豊富な資料によつて追います。

日本を夢想したファン・ゴッホ。ファン・ゴッホに憧れた日本人。交差する夢の軌跡を、ご覧ください。



里見勝蔵《オーヴェールの正面》1924年 油彩・カンヴァス 個人蔵



《芳名録 初編 表紙》1922年3月10日～12月17日署名分  
ギメ東洋美術館図書館蔵

近代美術館

大原美術館展

4月22日(土)～6月11日(日)

大原美術館は、1930(昭和5)年、岡山県倉敷市に開館しました。創立者は倉敷の実業家・大原孫三郎。コレクションの礎となったのは、岡山出身の洋画家・児島虎次郎が、孫三郎の理解と支援を受け、1920年代前半にヨーロッパで収集した作品です。

1920～30年代のフランス、中でもパリは画家にとつて憧れの地であり、世界各国から芸術家が集っていました。その時期は、日本では大正から昭和初期にあたり、洋画家たちが日本独自の油絵を模索し、個性的な作品が生み出され、画壇が活発な動きをみせた時代です。

マティス、ドラックマン、ウラマンクラ、日本人にとつて憧れだったフランスの画家、ピカソやクレイ、キリコらヨーロッパ各国の画家、大正日本のカリスマ岸田彌生、エコール・ド・パリの寵児となった藤田嗣治、フランスを愛した天折の画家佐伯祐三など。ヨーロッパと日本の珠玉の名品によつて、1920年代から30年代という時代を切り取つてご紹介いたします。



佐伯祐三《パリ街景》1927年  
大原美術館蔵

三岸好太郎美術館

子どものための三岸好太郎展  
ひびいて、発見! なぞの画家パ・ミギシ

7月1日(土)～8月27日(日)

三岸好太郎は、31年の短い生涯の中で3人のこどもに恵まれました。小さいこどもたちのために人形をつくり、自作自演の人形劇に興じたりするなど、我が子へ注いだ愛情を物語るエピソードも残され、長男の黄太郎は後に画家として活躍しています。本展は、地域のごどもたちを主対象として、北海道立三岸好太郎美術館の所蔵品の魅力を伝えるための展覧会です。三岸の作品《陽子像》に描かれた三岸好太郎の長女が、早世した父であり画家である好太郎(パ・ミギシ)のことを知ろうとして、遺された



三岸好太郎《陽子像》1927年頃  
北海道立三岸好太郎美術館蔵

絵の中を旅していくというストーリーに沿つて展示が展開します。会場へ来たこども達は、いわば長女の同行者となるのです。実物の絵に触発された描画・工作・記述を通して作品への理解を深め、最終的には自分なりのパ・ミギシ像を作り上げ表現することへと導きます。

旭川美術館

開館35周年記念

上村松園・松篁・淳之展

7月7日(金)～8月20日(日)

京都画壇で三代にわたり日本画を描く上村松園(1875～1949)、松篁(1902～2001)、淳之(1933～)の絵画世界を、奈良の松伯美術館コレクションを中心にした名作により、一堂に展覧する。

明治初頭に生まれた松園は、江戸後期から明治初期の京都の風俗や古典芸能に取材した女性像を繊細な筆致で格調高く描きだし、女性で初めて文化勲章を受章した。その松園を母とする松篁は花鳥画において、対象を厳しくみつめながら現代感覚ゆたかな絵画世界を

切り拓き、戦後は新制作協会や創画会の中心作家として、京都画壇を牽引。さらに松篁の長男・淳之も同じ創画会を舞台に活躍。膨大な数の鳥類を自ら飼育しながら日々、鳥との対話を重ね、独自の繊細優美な花鳥画世界を探索している。伝統の息づく京都で、それを真摯に受けとめつづける三様の新たな絵画世界を築き上げた三代の創造者の歩みを、《花がたみ》などの名作によつて紹介する。



上村松園《花がたみ》  
大正4(1915)年 松伯美術館蔵

函館美術館

ニッポンの写実 そっくりの魔力

6月10日(土)～8月20日(日)

なにかにそっくりなものをみた時、私たちは「これ、ホンモノ?」と驚かずにいられます。「そっくり」であることには、私たちの心をひきつけてやまない「魔力」がひそんでいるようです。西洋絵画の写実性は、日本の近代の画家たちに大きな刺激としてはたらきました。木彫や工芸では、伝統の精緻な技術に基づく迫真的な表現の伝統が現代まで受け継がれています。写真技術は、絵画における迫真的表現に大きな示唆を与えています。本展は、高精細の画像を見ることが日常

となつている私たちの、「リアル」なものに対する感性のありようを、あらためて振り返つてみる機会となるでしょう。夏休みにはオープンカフェ「そっくりカフェ」や、ワークショップ「そっくりスイーツ」挑戦!」など楽しいイベントを開催いたします。あわせてお楽しみください。



安藤緑山《竹の子、味噌、独活》  
大正時代 清水三年坂美術館蔵

## 帯広美術館

### 放浪の天才画家 山下清展

7月1日(土)～9月3日(日)

「旅行するくせは急にはおちらないので、だんだんとくせがすっかりおちてから、旅行しないで同じ場所をいつ迄も長く絵を書こうと思う…」

放浪の画家・山下清(1922～1971年)の言葉です。

彼の作品には、主に旅先で目にし、記憶に刻まれた光景が、ごく緻密に描きだされています。卓抜な手業と、そこからもたらされる素朴な美とのほどらいは、著名な芸術家をはじめ、多くの人々を魅了しつづけてきました。

本展では、少年時代から円熟期までの貼絵やペン画、鉛筆画、油彩、陶磁器の絵付けなどおよそ130点とともに、愛用品や映像資料、手記に記された言葉等もあわせてご紹介します。

山下清にとって絵とは、そして放浪とは、何だったのでしょうか。昭和を歩み、駆けぬけた49年の生涯と作品を、あらためてふりかえります。どうぞ、ご期待ください。



山下清《岐阜の大仏》1957年  
ペン画 ©清美社

## 釧路芸術館

### 追悼特別展 高倉健

7月1日(土)～9月6日(日)

任侠映画で一時代を築き、数多くの名作や話題作に出演した俳優・高倉健(1931～2014)。この不世出の俳優は、北海道とのゆかりも深く、「網走番外地」シリーズをはじめ、「幸福の黄色いハンカチ」、「居酒屋兆治」、「鉄道員(ぽっぽや)」など、道内をロケ地とする34作品に出演しています。

本展は、表現者としての俳優・高倉健にスポットをあてた企画で、最大の見どころは、出演作205本すべてから、高倉健出演の場面を抜粋した映像の体系的な展示です。また、映像に加え、高倉が所蔵していた台本や小道具、スチール写真、ポスター、プレスシートなどの

貴重な資料もあわせて展示します。

膨大な映像と資料により、稀代の映画俳優・高倉健の足跡をたどり、その全貌をご覧いただくことのできるまたとない機会といえるでしょう。

また、生前に親交のあった美術家・横尾忠則のディレクションによる映像インスタレーションや、写真家・森山大道による高倉健をモチーフとした作品なども見逃せません。

なお、本展は当館に続き、帯広美術館、近代美術館、函館美術館、でも開催します。



## 札幌芸術の森美術館

### 月光ノ絵師 月岡芳年

6月3日(土)～7月23日(日)

闇夜に浮かぶ月が照らすは、斬るか斬られるかの大勝負。こぼれる頬肉、振り乱る髪、螺旋にねじれし体躯と四肢。まとう衣服はばつさばつさとひるがえり、帯は弧を描いて方々に逆巻く。此の絵師描く組み討ちに、江戸の昔の型なぞ見えぬ。

その絵師の名は、月岡芳年(1839～1892)。幕末を越え、明治の新風を浴びながら、師・国芳譲りの豪快な歴史画、物語絵、武者絵を得意とした。同じ場面を描いても、国芳は物語の筋を説き、芳年は登場人物の心の内に迫る。

本展は、動乱の時代に惑わされることなく、しかし、過ぎるほどに自身をみつめて精神

病を患ったという、そんな自己の表現を真摯に追求した絵師・芳年を紹介する展覧会である。質、量ともに世界屈指を誇る西井正氣の芳年コレクションから下絵、版木なども含めて約150点を、選りすぐり、最後の浮世絵師として、また近代絵画の先駆者として芳年の画業を振り返る。



月岡芳年《義経記五條橋之図》明治14年

## 本郷新記念札幌彫刻美術館

### New Eyes 2017 家族の肖像

7月22日(土)～10月1日(日)

「New Eyes(ニューアイズ)」は、彫刻家・本郷新の願いだった作家の育成を目的に、新鮮な視点で世界を捉える作家たちを今日の新たなテーマのもとで紹介するシリーズ展です。

第3弾となる今回は「家族」をテーマに開催。北海道を拠点に活躍する作家たちによる立体、写真、映像等の作品を通じて、現代の多様な家族のありようや、変わりゆく家族観を提示します。人が家族をつくり、ともに生きるこの意味をあらためて問う展

覧会です。

出品作家は、写真作品を通じてジェンダーの問題を提示してきた鈴木涼子、日常の光景をモチーフに光や音を用いたインスタレーション作品を制作する今村育子、家族の記録写真を素材に実験的なアニメーション作品を手がけてきた佐竹真紀、コミュニティのなかで他者と関係を結びながらアートプロジェクトを展開してきた深澤孝史らを予定。



鈴木涼子  
《Rituko-Takumi from the Series Mama Doll》  
2004年

# MUSEUM CALENDAR

## 2017.4～2017.10

美術館のおもな展覧会ご案内

は特別展示室 是常設展示室

	4	5	6	7	8	9	10
近代美術館	開館40周年記念 4/22(土)～6/11(日) 大原美術館展Ⅱ		6/22(木)～8/15(火) レオナルド・ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展		開館40周年記念 8/26(土)～10/15(日) ゴッホ展 巡りゆく日本の夢		10/22(日) ～29(日) 天誓社50周年 記念展
	4/22(土)～8/15(火) 開館40周年記念 第Ⅰ期名品選／新収藏品展 そして彼らは伝説になった — 20世紀の芸術家たち 小樽芸術村×近美ガラスコレクション — 華やく光と彩り				8/26(土)～11/7(火) 第Ⅱ期名品選／ふれるかたち 北海道美術50 — 名作の秘密を探る 北海道の陶芸 — 新たな炎の挑戦		
TEL 011-644-6883 道近美 <a href="#">検索</a>							
三岸好太郎美術館	4/5(水)～ 4/16(日) 所藏品展 「その名はミギシ」	4/22(土)～6/18(日) 所藏品展 小樽芸術村×mima 絵画コレクション — 三岸好太郎とその時代		7/1(土)～8/27(日) 所藏品展 こどものための三岸好太郎展 つくって、発見! なその画家ノバミギシ		9/2(土)～10/1(日) 特別展 札幌国際芸術祭2017 公式プログラム 大友良英アーカイブ+三岸好太郎ワークス	
	TEL 011-644-8901 三岸美術館 <a href="#">検索</a>						
旭川美術館	4/1(土)～ 4/9(日) 色と形の ポリフォニー 平面の魅力	開館35周年記念/IFDA10回記念 4/21(金)～6/25(日) デンマーク・デザインの魅力 —織田コレクションと旭川—		開館35周年記念 7/7(金)～8/20(日) 上村松園・松篁・淳之展		8/29(火)～10/28(土) 招き猫亭コレクション 猫まみれ展	
	4/1(土)～4/9(日) 木の造形 セレクションⅡ	4/21(金)～10/28(土) イメージの森 —木から生まれる					
TEL 0166-25-2577 旭川美術館 <a href="#">検索</a>							
函館美術館	4/8(土)～5/28(日) 昭和の洋画を切り拓いた若き情熱 —九三〇年協会から独立へ		6/10(土)～8/20(日) ニッポンの写実 そつくりの魔力		8/26(土) ～9/1(金) 第58回北海道 書道展函館展	10/4(水)～10/27(金) 生誕120年 田辺三重松展	
	4/8(土)～9/1(金) 花鳥のながめ—崎崎波響から山口蓬春まで				9/2(土)～ 9/30(土) 休館		10/4(水)～1/21(日) タッチ!絵画と書にみる「筆触」 金子鷗亭と近代詩文書
TEL 0138-56-6311 函館美術館 <a href="#">検索</a>							
帯広美術館	4/29(土)～6/18(日) 帯広美術館コレクション選 見る、感じる、アートのチカラ		7/1(土)～9/3(日) 放浪の天才画家 山下清展		9/12(火)～11/12(日) 追悼特別展 高倉健		
	4/29(土)～6/18(日) 知られざる五十三次 歌川広重と「行書東海道」の世界		7/1(土)～9/3(日) ようこそ、バルビゾン村へ		9/12(火)～11/12(日) 生誕120年 能勢眞美 新収蔵《ゴルフを遊ぶ庭》初公開		
TEL 0155-22-6963 帯広美術館 <a href="#">検索</a>							
釧路芸術館	～4/19(水) 「光をみつめて…」 米坂ヒナリ追悼展	4/28(金)～6/21(水) 戦没画学生慰霊美術館 無言館 遺された絵画展		7/1(土)～9/3(日) 追悼特別展 高倉健		9/9(土)～11/12(日) 安野光雅の世界	
	4/28(金)～5/21(日) 中江紀洋展 立体と平面の往還		9/9(土)～10/4(水) 我が町のお宝展 弟子屈町から				
TEL 0154-23-2381 釧路芸術館 <a href="#">検索</a>							
札幌芸術の森美術館	4/8(土)～5/28(日) 札幌美術展 旅は目的地につくまでがおもしろい。		6/3(土)～7/23(日) 月光/絵師 月岡芳年		8/6(日)～10/1(日) 札幌国際芸術祭2017 「芸術祭ってなんだ?」		10/14(土)～ 12/3(日) 藤戸竹喜展
	TEL 011-591-0090 芸術の森美術館 <a href="#">検索</a>						
札幌彫刻美術館	～4/9(日) コレクション展 あなたが選ぶ、 本郷新の一点	4/22(土)～6/14(水) アフリカの仮面と彫像		6/18(日)～ 6/25(日) 新制作展 —北海道ゆかりの 作家たち(仮)	6/27(火)～ 7/17(月・祝) 子ども育成事業 わくわく★アートスクール	7/22(土)～10/1(日) New Eyes 2017 家族の肖像	
	～4/9(日) 本郷新と 札幌彫刻美術館	4/22(土)～(通年) 本郷新の人と芸術					
TEL 011-642-5709 札幌彫刻美術館 <a href="#">検索</a>							

○開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで) ※芸術の森9:45～17:00 (6月から8月は17:30まで)

○休館日 ●毎週月曜日(月曜日が祝日又は振り替え休日の場合は開館、翌火曜日休館)

●年末年始(12/29～1/3) ●展示替え期間(展覧会と展覧会の間)

※施設により臨時休館、臨時閉館の場合もありますので、各施設のホームページでご確認いただくか施設にご確認願います。

※会員証の利用について 貸館の観覧は会員証が利用できない場合がありますので、ご了承ください。

# 法人設立40周年記念事業

平成29年度が法人設立40周年を迎えるにあたり、昨年より特別委員会を設置、検討を重ねてきましたが、概ね次のような事業を行うことになりました。

## 40周年感謝デー(仮称)の開催

- 1、協力が近美に寄贈した作品の鑑賞会を、学芸員によるギャラリートークで行います。
  - 2、美術家など文化人から講師を選び記念講演の開催をします。
  - 3、若手音楽家によるミニコンサートを開催します。
  - 4、図録とポスター市を行います。
- なお、これらは、秋の「芸術週間」中に行う予定です。

## 会員数が増加しています

協力の設立40周年にむけて、昨年より財政基盤の確立、組織の強化を図るため、「会員募集特別キャンペーン」を実施してきました。

理事、事務局、ボランティア活動員による加入促進活動や、美術館や公共施設などに約5,500部のチラシの配布を行った結果、昨年4月から2月末までの加入数は、個人会員と法人会員の合計で992人となり、前年同期に比べ約8.7%の増加となりました。また、新規に入会案内のリーフレットを作成。この活用を図り会員の確保を図る予定です。

特別キャンペーンは29年度以降も継続して実施します。会員の皆様のご協力をお願いします。

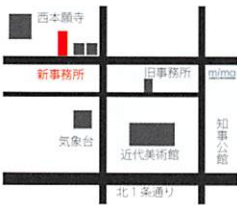
この詳細は事務局まで TEL(011)644-4025

## 愛称は「mima(ミマ)」に決まる



昨年一般公募した三岸美術館の愛称は、全国から1,250件の応募があり、同じ愛称をつけた、神奈川県の大澤花蓮さんと、奈良県の脇本健治さんの作品が選ばれた。m, i, m, aは「Message of Impression by Meeting Art」の頭文字から採ったという。

また、札幌のデザイナー畠山尚さんがこれを基にロゴマークを作成。愛称とロゴは今後ミュージアムカレンダー、ポスターなど幅広く使われることになった。



## 《事務所が移転しました》

新住所：〒060-0003  
札幌市中央区北3条西18丁目2-7  
新田ビル2F  
Tel/Fax と Email アドレスは  
変わりません。

## ボランティアによる記念事業

- 1、40周年記念の旅を実施します。
- 2、親と子を対象としたワークショップを開催します。

## 記念刊行物の発刊

- 1、会報「アルテピア」40周年記念特集号を発行します。
- 2、「美術館とともにーボランティア活動5年間のあゆみⅧ」の発刊をします。

## ご入会ありがとうございました

## 新会員紹介

2016年8月～2017年2月・敬称略

### \*個人会員

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
札幌市 榎本 栄子	東京都 前田 一男	札幌市 能田 紀子	札幌市 丸島 均	札幌市 武須 小	札幌市 白松 橋	札幌市 酒柴 杉
札幌市 鏡 田 直子	旭川市 積 熊 耳	〃 保木 本	〃 五十嵐 畑	〃 内田 林	〃 松川 本	〃 村上 加
〃 森 井 秀仁	江別市 吉 田 直	札幌市 今村 孝子	〃 野 藤 真	〃 佐藤 眞	〃 日 久	〃 山 田 田
〃 安 井 恵美子	〃 吉 野 貴代子	〃 島 田 宏	〃 野 藤 眞	〃 上 河	〃 久 忠	〃 川 鏡
〃 高 橋 みどり	当別町 平 野 雅美	〃 久 安 傳	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 四之宮 きよ美	函館市 高 柳	〃 安 傳 庄	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 佐久間 孝子	札幌市 塩 見 アイ子	〃 安 傳 庄	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 高 柳 郁子	〃 伊 藤 京子	小樽市 余市 佐	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 山 遠 洋 朋	〃 田 中 水	〃 余市 佐	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 高 橋 藤吉	〃 清 藤 福	札幌市 丸島 均	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 遠 関 橋 綾	〃 藤 富 岡	〃 五十嵐 畑	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 高 村 麻由子	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 中 馬 本 智	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 山 本 川 幸	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 中 小 田 幸	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 小 池 田 幸	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 伊 辺 文典	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 赤 堀 敏	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 阿 部 敏	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武
〃 和田 吉雄	〃 尾 田 京子	〃 野 藤 眞	〃 野 藤 眞	〃 河 須	〃 澤 長	〃 鏡 武

### \*法人会員

8月	札幌市	石屋製菓株式会社 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
9月	札幌市	北都交通株式会社

### 《お詫びと訂正》

「アルテピア」69号の9ページ「新会員紹介」欄で、名前が間違っていました。  
5月「中谷佑希子」とありますが、正しくは「中谷夕希子」です。  
訂正して深くお詫び申し上げます

**美術を学ぶ若者を応援**

第58回「学生美術全道展」の入賞、入選者が10月6日発表されました。応募総数246点中から、最高賞には道教大岩見沢校4年の木村麻衣さんの絵画『メディア』が選ばれ、全道美術協会賞・北海道美術館協力会賞が贈られました。

15～21歳を対象とした公募展第9回「道展U21」（北海道美術協会主催）は2月3日に開催。678点の中から「北海道美術館協力会賞」には、岩内高校の佐々木佑真さんの『幸福の稔りへ』が選ばれました。

当協力会は毎年、若者を対象としたこの2公募展の優秀作品に「北海道美術館協力会賞」を贈っています。



全道美術協会賞・北海道美術館協力会賞  
受賞作品『メディア』  
木村麻衣（道教大岩見沢校）

北海道美術館協力会賞  
受賞作品『幸福の稔りへ』  
佐々木佑真（岩内高校）

**美術講座プレミアム2016 (9/2~9、10/27、全5回)**

今年度も好評 - 多彩な講師陣で -

昨年度から一般公募で始まった美術講座プレミアムは、今年度も好評のうちに終了しました。受講者は156名と、昨年度より少なかったものの、リピーターが目立ちました。

講座の内容と講師は以下の通りです。(敬称略)

- 第1回 北海道映画史はじめのはじめ  
前川公美夫（元北海道新聞記者）
- 第2回 アイヌ風俗画の世界  
新明英仁（市立小樽美術館館長）
- 第3回 文学館の「さとぼろ」ものがたり  
苫名直子（道立文学館主任学芸員）
- 第4回 具象絵画と私  
西田陽二（画家・道都大学特任教授）
- 第5回 個人美術館の真実—三岸好太郎と本郷新をめぐって  
寺嶋弘道（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）

**ちびっこ芸術家 創ってみたい?紙deポップUPワールド**

小学生を対象とした人気のワークショップ、ジュニア・アート・クラブ2016が10月22日に開かれました。講師は彫刻家の加藤弘子さん。21名の参加者は、ボランティアに見守られながら、紙を使って立体的な想像の世界を作り上げました。



折ったり切ったりぐしゃぐしゃにしたり

**昨年は2度実施 秋の彫刻清掃**

10月7日、朝方の雨もやみ、久々に年2回の彫刻清掃を行うことができました。学芸員より彫刻の説明を受けた後、協力会ボランティアと彫刻友の会による近美と知事公館前庭の8体の彫刻を清掃。

今回は6月ごろの予定です。



**第34回 海外美術研修旅行 (2016年10/23~28)**

美の探訪  
世界四大博物館・  
国立故宮博物院を訪ねて  
台湾へ



特徴的な寺院の屋根



故宮博物院のまえて

近美  
Museum  
Shop

★上半期人気ベスト3

- 1位 ポストカード
- 2位 ペーパータオル
- 3位 集彩苑ハンカチ

北海道立近代美術館コレクション選

「日本画逍遙」



近代美術館が所蔵する日本画の中から選りすぐりを紹介  
2,592円

★ガチャポン新登場



200円~400円

**編集だより**

■昨年、東京都美術館で観た「伊藤若冲展」は5時間待ちの盛況ぶりでした。江戸絵画が輝いて見えました。道内の美術館も楽しみな企画が満載でした。今年は4月末から近美で開催される大原美術館展が楽しみです。

■当協力会は今年設立40周年を迎え、記念事業が実施される予定です。美術館を陰で支えるボランティアの一人として活動に力が入りそうです。(A)